

公明クラブ 小池利雄 議員
6次産業化ネットワーク活動
支援事業について

質問(公明クラブ・小池利雄議員)
6次産業化ネットワーク活動
支援事業の内容と今後の運用方
針について伺います。

答弁(市長)
国においては、雇用と所得を
確保し、若者や子供も集落に定
住できる社会を構築するため
に、農林漁業生産と加工、販売の
一体化や、地域資源を活用した
新たな産業の創出を促進するな
ど、農林漁業を6次産業化する
地域活力増プロジェクトが位



スクールソーシャルワーカーの活動拠点となる『すばる』

置づけられました。
平成25年度の新規事業とし
て、6次産業化ネットワーク活
動推進交付金事業が創設され、
農林漁業者と流通、食品、観光
事業者等が主体となって参画し
た地域的な、またはテーマ別の
ネットワーク構築に向けた推進
会議の開催や、多様な業種と連
携した新商品開発や販路開拓、
施設整備等の取り組みを支援す
る事業であり、本市において

も、6次産業化推進事業に取り

公明クラブ 小池利雄 議員
スクールソーシャルワーカーの
配置事業について

質問(公明クラブ・小池利雄議員)
スクールソーシャルワーカー
の配置事業の内容と今後の運用
方針について伺います。

答弁(市長)
市内児童生徒の不登校等の背
景に、本人の特性や学校の人間関
係だけではなく、養育にかかわる
家庭の問題が複雑に絡み合っ
ているケースが増えてきています。
そこで、平成25年度からスクー
ルソーシャルワーカーを配置し、
専門性を生かして家庭や学校に

積極的にかかわりながら、児童相
談所や子ども幸福課などの関係
機関との連携を図るつなぎ役と
しての役割を果たすことにより、
不登校等の解決を目指したいと
考えています。

具体的には、4月から本市の適
応指導教室すばるにスクール
ソーシャルワーカーを1名配置
します。勤務については、週2日
程度を予定しており、4月当初
は、関係機関とのつながりが必要
となるため、関係機関を訪問し、

児童生徒をつなぐ役割を果たす
ため業務の説明をします。

その後、市内の小中学校からの
依頼を受けたケースにかかわる
ことになっていきます。ケースへの
関わり方はさまざまであり、学校
訪問による情報の収集、分析、家
庭訪問による最善の対応策の模
索、さらには関係機関に働きかけ
をし、個人や環境の課題の解決に
向けて調整を行います。

また、学校、福祉、医療などの関
係者を集めたケース会議を開催
しまして、不登校等の背景にある
個人の心の問題と家庭環境や学
校関係との関係について情報の
共有化を図り、対応策を検討して
いきます。

組むため、要望調査を実施した
ところ、3事業主体の実施要望
がありましたので、平成25年度
当初予算に計上しました。

また、6次産業化の取り組み
希望者については、栃木6次産
業化サポートセンターとの連携
により、6次産業化プランナー
等を紹介し、個別相談が受けら
れる体制を整えています。

今後についても、栃木6次産
業化サポートセンター等関係機
関との連携を強化するとともに
に、国、県の支援事業の有効活
用を図るなど、6次産業化に取
り組む農業者の増加につながる
ような取り組みを行うことで農
業者の収益向上による地域活力
の向上を図っていきます。



農業者たちによる6次産業についての
グループワークの様子